

文化・芸術

「街」

1938年、油彩・合板
131.0cm×163.0cm（大川美術館蔵）

松本竣介（1912～48年）

松本竣介26歳。新たな画風による初期代表作です。街と人々が、あらゆる遠近で重なり、混然一体となったイメージが浮遊しています。

本作は現在、京都のアサヒテーループ大山崎山荘美術館で開催中の「松本竣介 街と人」（さ）冴えた視線で描く」（4月6日まで）に出品しています。大正から昭和の初めに建築された英国風山荘は、まさに竣介が生きた時代と重なります。この展覧会では、当館のコレクションを中心に竣介の画業を60点余りの作品とデッサンでたどります。

大川美術館は館内改修工事のため、4月25日まで休館しております。大変ご迷惑をおかけいたしますが、何とぞご理解をたまわりますようお願い申し上げます。

（小此木）

《名画の扉》

大川美術館コレクションから

